

八丈島 水産だより 2月号増刊

2009

黒潮号



「くろしお」は、世界の共通語

■黒潮とは？

くろしお は、日本列島の太平洋側を西から東へ流れる暖流で、海の中にある大きな川のようなものです。黒潮の幅は50～100kmにもなり、スピードは人が歩く2倍位の速さで流れています。また、流れ方は上の図のように、大きく5つの型に分けられます。プランクトンが少ないため透明度が高く、光が深くまで通り濃い青色をしていることから「黒潮」という名前がついたといわれています。

■今年の春の黒潮流路予測は？

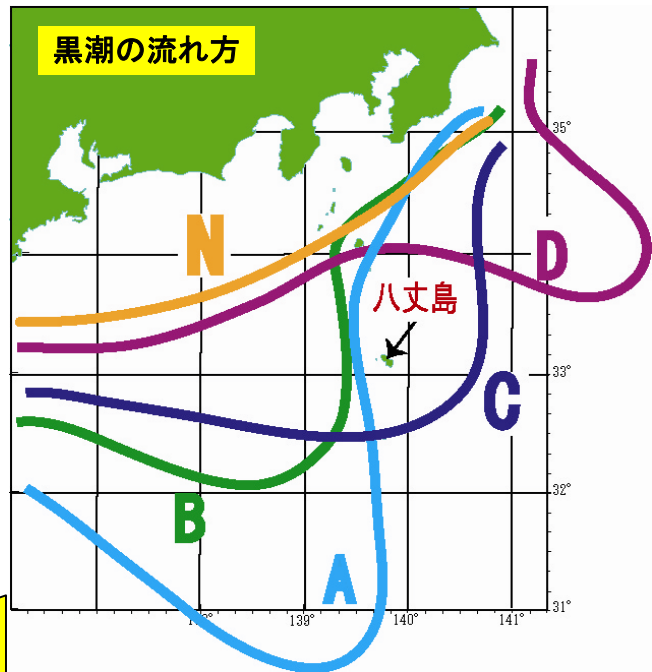
くろしお は、上の図のように蛇行して流れ、時間とともに大きく変化します。また、内側に冷水塊と呼ばれる冷たい大きな海水の塊を伴うことがよくあります。現在の黒潮はC型で、八丈島の南側を回るように流れています。今後、6月まではC型で流れ、一時的に4～5月頃にB型になると予想されています。

■今、回遊してきている魚は？

くろしお とともにマカジキやビンチョウマグロ(ビンナガ)が回遊しています。ハマトビウオもやってきました。カツオがくる時期ももうすぐそこです。

**ハマトビウオ漁が
2月3日出漁開始!**

初日は
6,560尾水揚げ



■黒潮の恵み

マグロやカツオなどの回遊魚は暖かい所が好きなので、黒潮に乗って回遊してきます。また、遠くからいろいろな魚の卵や稚魚を運んできます。さらに、暖かい海流が近くを流れることにより八丈島に温暖な気候をもたらすなど、島の人たちに自然の恵みを与えてくれるありがたい海流です。

■現在の黒潮は？

いま、大きな冷水塊が八丈島付近にあり、八丈島の海水温が低くなっています。



す。2月24日午前9時の海水温が15.8°Cで、平年より1.7°C低いです。黒潮は20°Cです。

ハマトビウオも、伊豆諸島の周りにやってきました。

東京都八丈支庁産業課 TEL04996-2-1113

<http://www.soumu.metro.tokyo.jp/09hatijou/index.html>